

第 20 回社会福祉士国家試験介護概論の問題 141 に対するやまだ塾の問題提起

～2008 年 1 月 30 日にやまだ塾トップページに掲載した記事～

(2008 年 2 月 2 日)

■以下の質問(原文のまま)があり、お答えするとともにやまだ塾から問題提起をします。(1/30 掲載)

<やまだ塾への質問>

「社会福祉士 介護概論の問題 141 選択肢 3 の「利用者の左側から介助する」という言葉に困惑したのは私だけでしょうか。内容的には正しいことを言っているのですが、「利用者の左側」と言っても、「利用者の向かって左側に位置して介助する」という捉え方と「利用者から見て左側から介助する」とあるのではないかと考えてしまったのは、考えすぎでしょうか。」

<やまだ塾の見解と問題提起>

問題 141 片麻痺者の介護法に関する次の記述のうち、適切なものを一つ選びなさい。

- 1 歩行介助は、利用者の前方に位置すると安全を守りやすい。
- 2 右片麻痺者が前開き上着を着用する場合、右腕を保護しながら先に左腕を袖に通す。
- 3 右片麻痺者がベッド上で臥床して食事をする場合、利用者の左側から介助する。
- 4 左片麻痺者が車いすに移乗する場合、利用者の左側に車いすを置く。
- 5 麻痺がある利用者の入浴介助では、本人の負担をなくし介助者が洗う。

解答速報にも記載しましたが、本問題は「脇の甘い問題」の一つです。福祉専門職の国家試験であれば「左側から」ではなく、正確を期すために「健側に位置して」等と表現すべきでした。質問者の捉え方も完全に否定できないので、「解答なし」もありうると考えられます。やまだ塾では、混乱を避けるために、「解答速報」の時点では解答を一つに絞り「3」は正しいとしましたが、絞る前は「3or 解答なし」がやまだ塾の見解でした。検討の結果、「解答なし」を議論の対象にすべきと結論付けましたので、この段階で問題提起します。(1/30 7:00)。